

編集 後記

編集顧問 町田豊平
編集委員 郡 健二郎

小川秋實 秋元成太 村井 勝
藤岡知昭 大家基嗣

「2012 ライフサイエンス知財フォーラム」において、東京大学医科学研究所の中村祐輔教授が「2011 年度、日本の医薬品輸入額は 1 兆 3600 億円の輸入超過となった。国全体の貿易赤字は 2 兆 5000 億円程度なので、医薬品輸入額が貿易収支に与える意義は大きい。国内企業の創薬力の強化が大きな課題である」と講演された記事を興味深く読みました。私どもの周りを見回しても、現在、腎癌の臨床において主役となっている高額な分子標的薬は、4 種すべてが輸入品です。また、なじみの抗癌剤もほとんどは海外の創薬です。熱心に臨床をやればやるほど貿易赤字の増加に貢献している、なんともやりきれない現実を背を向けることができません。

日本の誇る医療保険制度における受益者負担は現時点で 5 割程度であり、国の財政の悪化は医療の崩壊の重大原因となることは明確です。政府は臨床中核病院の整備を将来の医療を見据えた対策の基本に置いているのですが、問題は違う方向にあると思います。現在わが国には創薬に結びつくシーズの絶対量が少ないということではないでしょうか。それにつけても、中村祐輔教授が内閣官房・医療イノベーション推進室長の退任を決意されたことは無念であったと思います。「政府に猛省を促す抗議の決断」ではないでしょうか。

今月号より、埼玉医科大学国際医療センター病理診断科教授 清水道生先生によるカラーグラビア「知って

いと役立つ泌尿器病理」が始まります。最初の症例は 30 代の女性です。専門医を目指す若手の読者には、特に魅力ある連載となるものと思われます。カラーグラビア「珍しい外陰部疾患」は、「精巣破裂、外傷性精巣脱出症、外傷性陰茎転位症、精巣捻転、陰茎折症」で、いつもどおり東京医科大学名誉教授 三木 誠先生と、東京医科大学八王子医療センター 相沢 卓先生より提供された貴重な写真を 10 枚掲載しています。綜説は、東邦大学の中島耕一教授らによる「男性不妊症における幹細胞研究の現況と展望」です。一日も早い精子形成の再生が実現することを期待します。手術手技「指導的助手からみた泌尿器科手術のポイント」は「回腸導管造設術」です。岩手医科大学の丹治 進先生らにより古典的な手縫、熊本中央病院の濱田泰之先生らにより自動吻合器での回腸端端吻合についてそれぞれ解説していただいています。今月号より、セミナー「テストステロンを再考する」を開始します。1 回目は福岡大学の柳瀬俊彦、明比祐子両先生による「内分泌環境の中でのテストステロンの位置づけ」で、示唆に富む興味深い内容です。そのほか、症例報告 5 編と画像診断 1 編が掲載されています。特に「アフリカ滞在にて感染したビルハルツ住血吸虫症」は海外旅行が日常化した現代の泌尿器科医の臨床において、知っておかなければならない重要な情報だと思います。

(藤岡知昭)

臨床泌尿器科 (第 66 巻 第 5 号) (通巻 787 号)
2012 年 4 月 20 日発行 (毎月 1 回 20 日発行)

定価 2,940 円 (本体 2,800 円 + 税 5%)

2012 年年間購読料

冊子のみ	41,780 円	冊子 + 電子版/個人	46,780 円
電子版/個人	41,780 円	冊子 + 電子版/共有	53,100 円
電子版/共有	48,200 円		

増刊号を含む 13 冊、税込、送料小社負担

発行 株式会社 医学書院
代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

電話 本誌編集室直通 (03) 3817-5709

(担当: 登・安部)

販売部直通 (03) 3817-5659・5660

E-mail: rinpi@igaku-shoin.co.jp

振替口座 東京 00170-9-96693 番

印刷所 三報社印刷(株) 電話 (03) 3637-0005

広告申込所 (株) 文京メディカル 電話 (03) 3817-8036

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2012, Printed in Japan.

・ 本誌に掲載された著作物の複製・複製・転載・翻訳・データベースへの取り込みおよび送信 (送信可能化権を含む) に関する許諾権は医学書院が保有しています。

・ 本誌を無断で複製する行為 (複製、スキャン、デジタルデータ化など) は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的 (診療、研究活動を含む) で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

・ **JCOPY** < (株) 出版者著作権管理機構 委託出版物 >

本誌の無断複製は著作権法上の例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、(株) 出版者著作権管理機構 (電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。